総合

「出国税」創設、観光財源に

税制改正大綱　19年1月7日から

自民党、公明党は12月14日、与党税制改正大綱を決定した。政府が2020年の目標に掲げる訪日外国人旅行者4千万人の達成などに必要な観光施策の財源として、出国旅客に負担を求める国際観光旅客税（仮称、出国税）の創設が決まった。日本人、外国人を問わず出国ごとに千円を課税する。19年1月7日から出国旅客に適用する。

航空機はもとより、船舶による出国も課税対象。2歳未満の子ども、乗務員などは対象外。乗り継ぎ旅客は、入国後24時間以内に出国すれば、課税の対象にはならない。航空会社など国際運送事業者が、旅客から徴収し、翌々月末までに国に納付。プライベートジェットなどによる出国は、旅客が搭乗前に納付する。

財源の使途については、「受益と負担の関係から、日本人出国者を含む負担者の納得が得られ、先進的で費用対効果が高く、地方創生をはじめとするわが国が直面する重要な政策課題に合致するもの」とした。

具体的な使途としては、①ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備②日本の多様な魅力に関する情報の入手の容易化③地域固有の文化、自然などを活用した観光資源の整備などによる地域での体験、滞在の満足度向上―に資する施策に充当する。

創出される財源の規模は、16年の出国旅客数（外国人約2400万人、日本人約1700万人）で考えると、出国1回当たり千円なので約410億円となる。

国際観光旅客税の適用は、19年1月7日以後の出国だが、1月7日より前に締結された運送契約による出国には適用しない。

一般物品と消耗品 合算で免税可能に

訪日外国人旅行者向けの消費税免税制度の改正も決まった。免税の対象となる販売金額の判定に関して、「一般物品」と「消耗品」の合算を認めることで買い増しを促し、消費額の拡大につなげる。

現行で免税が適用されるのは、一般物品で販売金額5千円以上、食品や化粧品などの消耗品で販売金額5千円以上～50万円以下。合算はできず、それぞれで金額の要件を満たす必要があったが、18年7月1日からは、合算で5千円以上～50万円以下で免税となる。ただし、消耗品に加えて、一般物品も国内での使用はできず、特殊包装が義務付けられる。

また、免税手続きを電子化し、ペーパーレス化を進める。外国人旅行者は、免税店で割り印を受けて購入記録票を旅券に貼り付けてもらう必要があるが、システムの整備により購入データが記録されることで、税関で旅券を提示すれば済むようにする。免税店の手続きの省力化にもつなげる。

手続きの電子化は20年4月1日から開始する予定。ただし、21年9月30日までは、現在行われている購入記録票の貼り付け、割り印の手続きも併せて認める。【向野悟】

観光に関する主な税制改正

措　置	開始時期	概　要
国際観光旅客税（仮称、出国税）の創設	2019年1月7日	航空機・船舶で出国する旅客、出国1回に付き1,000円
外国人消費税免税「一般物品」「消耗品」の合算容認	2018年7月1日	合算で5,000円以上～50万円以下、特殊包装必要、国内使用不可
外国人消費税免税手続きの電子化	2020年4月1日	「購入記録票の旅券への貼り付け、割り印」に代えて「免税販売情報の電磁的記録による提出」

上期の外国人客 5万4千人目標

はとバス

はとバスは、今年上期（1～6月）の外国人利用者の目標を5万4千人と設定した。前年比3割増で、日本人に人気がある観光地を希望する外国人をターゲットにした新コースを三つ造成。

具体的には、例年約30万人が訪れる神奈川県三浦市の「河津桜」やゴールデンウイーク期間は日本人にも人気が高い「富士芝桜まつり」（山梨県富士河口湖町）を鑑賞するコースに加え、富士山2合目スノータウン「イエティ」（静岡県裾野市）で雪遊びをするコース。

このほか、季節コースを含め「英語、中国語コース合わせて1200人の利用を目指す」（広報室）という。

例えば、「横浜三溪園と河津桜トレイン（英語、中国語）」は2月5～28日の設定で、旅行代金は大人9500円、子ども9千円となっている。

観光関連団体 18年の総・大会日程

▽日本旅館協会＝6月14日、東京都港区・ホテルインターコンチネンタル東京ベイ
▽全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会＝総会6月5日、熊本県熊本市・熊本ホテルキャッスル、大会6月6日、福岡県福岡市・ヒルトン福岡シーホーク
▽日本ホテル協会＝3月13日、東京都新宿区・京王プラザホテル
▽全日本シティホテル連盟＝6月18日、東京都千代田区・ホテルグランドパレス
▽JTB協定旅館ホテル連盟＝6月13日、東京都新宿区・京王プラザホテル
▽近畿日本ツーリスト協定旅館ホテル連盟＝5月29日、東京都港区・シェラトン都ホテル東京
▽日本旅行協定旅館ホテル連盟＝2月22日、東京都台東区・浅草ビューホテル
▽東武トップツアーズ協定旅館ホテル連盟＝3月28日、東京都墨田区・東武ホテルレバント東京
▽東武トップツアーズ協定運輸観光施設連盟＝3月19日、東京都墨田区・東武ホテルレバント東京
▽JRグループ協定旅館ホテル連盟＝6月8日、東京都豊島区・ホテルメトロポリタン
▽読売旅行協定旅館ホテル連盟＝7月6日、東京都新宿区・京王プラザホテル（理事会総会）
▽農協観光協定旅館ホテル連盟＝7月3日、東京都江東区・ホテルイースト21東京
▽タビックスジャパン協定連盟＝隔年開催で、今年は開催しない
▽クラブツーリズムパートナーズ会＝7月2日、東京都新宿区・京王プラザホテル
▽日本観光振興協会＝6月8日、東京都港区・東京プリンスホテル
▽日本温泉協会＝6月26日、鳥取県米子市・皆生グランドホテル天水
▽日本旅行業協会＝6月21日、東京都千代田区・経団連会館
▽全国旅行業協会＝6月28日、東京都千代田区・都市センターホテル（予定）
▽日本添乗サービス協会＝3月22日、東京都港区・ホテルメルパルク東京
▽国際観光日本レストラン協会＝2月22日、東京都江東区・東京ビッグサイト
▽国際観光施設協会＝6月13日、東京都千代田区・ホテルグランドパレス
▽日本バス協会＝6月13日、東京都千代田区・経団連会館

食と観光 訪日客4000万人時代の和食 ⑩

合成添加物を排除し 自然の食の提供を

21世紀は「健康」がキーワードといわれ、昨今はその維持増進のため、あらゆる食品が市場にて再興した。

「一国の食卓の歴史はその文明の歴史である」「一食懸命」「医食同源」「天の美禄、佳肴招福」「お客さまの健康第一」をモットーに良質の食の提供を実践しているが、最近特に懸念されるのは、われわれの生命が依存する飲食の質と安全が、大量の合成添加物の使用により極めてないがしろにされていることである。

加工食品の普及は合成添加物の使用により急速に拡大したが、その成分表示が完全でないが故に消費者は購入に際し、それらを理解し自らの健康のため、細心の注意をする者は非常に少ない。合成添加物の大量、連続摂取による副作用のデータは皆無に近いが、その単品使用でも副作用が指摘されているものが多い。

特に、調味料（アミノ酸等）と表示されているうまみ調味料は、グルタミン酸塩（MSG）を約97%含み、自然のグルタミン酸とは全く別物であり、中華料理店症候群として一過性自律神経失調症と味覚異常を起こすが、その未使用は「おいしくない、味がない」などとして極めて安易に大量に使用されている。

われわれはお客さまの健康を守るため、これらの合成添加物を排除する。特にこれからますます増加するインバウンドのお客さまに、安心・安全な日本の自然の食事、1日3回提供される食材に、自然の食を提供することを即実行すべき時であると思う。もちろん、家族の健康のためにも…。

（国際観光日本レストラン協会常務理事　仙台勝山館、伊澤平一）＝隔週掲載

協力・国際観光日本レストラン協会

私の視点 128

観光羅針盤

石森　秀三

日本のインバウンド観光立国政策は順調に進展しており、2018年はいよいよ「インバウンド3千万人」の大台を超える可能性が高まっている。その一方で世界の政治情勢は不安定化の度合いを強めている。

北朝鮮の核・ミサイル問題について国連安全保障理事会で繰り返し討議されているが解決の見通しは立っていない。

17年12月にトランプ米大統領がエルサレムをイスラエルの首都と認めたことによって、中東和平がもろくも崩れつつあり、軍事的衝突の危険性が高まっている。さらに、世界各地で繰り返しテロが発生しており、日本でテロが発生しても不思議ではない。

17年、国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」がノーベル平和賞を受賞したが、現実には核兵器の脅威がより高まっている。テロを行う過激派組織が核兵器を入手し使用するならば、世界中に大きな衝撃が生じるだろう。

観光産業はフラジャイルな産業であり、戦争やテロ、伝染病、大きな災害などが生じるとすぐに観光客の動きが鈍化し影響を受ける。

フラジャイル（fragile）は「壊れやすい」「虚弱な」「はかない」などを意味しており、観光産業はまさに「壊れやすく、虚弱な産業」という面を克服できていない。

昨年、日本のテレビ界で「フラジャイル」が大いに話題になった。それはフジテレビの医療系ドラマ「フラジャイル　病理医岸京一郎の所見」で、長瀬智也が冷静・沈着で優秀な岸医師役を好演し、病理医という世間一般に馴染みのない仕事が注目された。

このドラマは、草水敏・原作、恵三朗・作画によるコミックがドラマ化されたものだった。人間の身体はもろく、壊れやすいものであり、病理医が的確な診断をして患者の命を救っていく内容であった。

病理医は患者から採取した細胞や血液、体液などを病理検査したり、臓器を直接肉眼で確認したり、CTスキャンの画像解析などによって病理診断を行い、適切な治療方法について担当医に助言して、患者の命を救っていく。

ドラマでは岸病理医が患者の命に関わる診断に対して強い情熱と誇りをもって担当医に助言を行うために

フラジャイルの超克

しばしば担当医と激論になるという筋書きが好評だった。

観光産業が抱えるフラジャイルな病理について冷静・沈着に病理検査・診断を行い、観光産業界に対して助言を行う体制を整える必要がある。

日本のインバウンドの隆盛は大いに慶賀すべきことであるが、その一方で日本の観光産業のさまざまな病理がすでに明らかになっている。今年こそ観光産業に対して的確な病理診断を行い、適切な治療方法を助言する岸医師のような優秀な病理医の登場が期待されている。

（北海道大学観光学高等研究センター特別招聘教授）

外国人に人気の旅館 1位は京都の楽遊

トリアドベ調

トリップアドバイザーが発表した「外国人に人気の日本のホテルと旅館2017」によると、旅館は「京町家　楽遊　堀川五条」＝写真＝が初登場で1位を獲得した。ホテルは「ザ・リッツ・カールトン京都」で、いずれも京都市の施設だった。

16年10月から17年9月の1年間に、旅館・ホテルに投稿された外国語の口コミ評価（5段階）の平均、投稿数などをもとに集計、ランク付けした。

楽遊（7部屋）は建築家の内田康博氏が「京町家を新築して旅館にする」をコンセプトに設計した施設で、16年6月にオープンした。朝食のみで、夕食はない。銭湯の無料券がもらえることや、朝食に1947年創業の「まるき製パン所」のパンが食べられることなどから高い評価を得た。

楽遊をはじめ、四万温泉柏屋旅館（4位、群馬県中之条町）、嵐山辨慶（6位、京都市）が初登場ながらベスト10にランクインした。

昨年1位だった京都市の料理旅館白梅は3位となった。

ザ・リッツ・カールトン京都は、祇園や河原町、先斗町など繁華街に近い。ロビーに町家建築特有の明るさと暗さのコントラストを採り入れたり、ホテル内の随所に「源氏物語」をコンセプトにしたアートワークを施すなど、ラグジュアリーな空間の中に京都の伝統、文化のエッセンスを散りばめている。

年末年始 人気旅行先は東京

リクルート調べ　岩手県の増加率大

リクルートライフサイクルがまとめた年末年始（12月23日～1月8日）の宿泊予約状況によると、国内の人気旅行先1位は東京都だった。増加率が大きかったのは岩手県で、SNS映えする観光名所への関心がアップにつながったようだ。

11月24日時点での予約人泊実績をもとに前年同期比で算出した。予約のピークは31日で、年越しを旅行先で過ごす人が多いと予測。平均宿泊数は1・2泊となっている。

人気旅行先のベスト5は、1位東京都で、以下、北海道、大阪府、千葉県、静岡県と続く。「東京都はクリスマスやカウントダウンなどのイベントが随所で行われる予定で、これを目的に訪れる旅行者が多い」としている。

静岡県は、熱海エリアがもっとも予約が多い。NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」の舞台、浜松も予約が増えている。

岩手県の増加率を押し上げたのは龍泉洞。16年の台風10号の被害で閉鎖していたが、17年3月に営業を再開。冬季限定イルミネーションなど冬ならではの幻想的な景色がSNS映えするのが人気のようだ。

香川県のロングビーチ父母ケ浜もSNS映えするとあって人が集まっている。夕焼け時にはボリビアのウユニ塩湖のように水面が鏡のような幻想的な写真を撮れるという。

初詣と初日の出情報をサイトに

日観振

日本観光振興協会はこのほど、協会が運営する観光情報サイト「全国観るなび」に初詣・初日の出特設ページをオープンした。1月下旬まで旅行者に情報提供する予定。初詣は約400スポット、初日の出情報は約200スポットを掲載しており、参考になりそうだ。

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚く御礼を申し上げます。

株式会社ジェイティービーは2018年1月1日付で社名を「株式会社JTB」に変更しました。
JTBグループは、2018年4月1日付で『新たな価値提供に向けた経営改革』を実施します。今回の変革の先に目指す姿を、劇的な進化を遂げる意思を込めて「第三の創業」と位置付けております。事業ドメインを『交流創造事業』と定め、地球を舞台にあらゆる交流を創造します。JTBならではのソリューション（商品・サービス・情報・仕組み）を提供することで、深い感動と共感を頂ける“JTBファン（お客様）”の拡大を目指します。
皆様に信頼いただける事業パートナーとして、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

株式会社JTB　代表取締役社長　髙橋 広行

「日本の旬」

「日本の魅力の再発見」をテーマに、各地の「旬」の魅力を掘り起こし、旅行を通じてより多くのお客様にご案内し、現地の魅力を感じていただけることで、国内観光地域活性化への貢献を目指す「JTBグループ」のキャンペーンです。
2017年10月～2018年3月までは「日本の旬 北海道」を展開中です。

2018年度　2018年4月～9月 瀬戸内山陰 ／ 2018年10月～2019年3月 北関東

「杜の賑い」

杜の賑いは「地域に埋もれた、あるいは忘れ去られようとしている郷土の祭りや芸能を見つけ出し、掘り起こし、時と場所を選ばず一同に集めて展開し、旅の中でお楽しみいただく」をコンセプトに、当初は国内旅行素材開発を目的に開催されましたが、年を重ね、回を重ねるごとに、単なる観光商品ではなく、地元自治体、観光関係機関との連携などから発展的に規模が拡大し、近年では、地域における伝統文化の保護育成、若者達の創作芸能への芸術支援や、地域活性化事業としてのイベントの色彩を濃くしながら、全国各地で開催されています。

第131回「杜の賑い 沖縄」　2018年1月20日（土）～21日（日）開催